

## 魅惑の娼館物語～大和撫子トウコ編～

トウコ役：篠守ゆきこ

館主イロハ役：結姫うさぎ

### ☆前置き

いらっしゃいませ。

今宵は娼館"織姫屋"へお越しいただき、ありがとうございます。わたくし、オーナーのイロハと申します。

当館はニッチな性癖をお持ちの方が好んで来店していらっしゃる、少し特殊な娼館になっております。

ふふっ、そう引け腰にならなくとも、大丈夫ですよ？

先程特殊……とは言いましたが、娼婦達は良い子達ばかりで、品質の高さはお約束いたします。

では早速、っと、そうですね……。

実はこちらには娼婦の一覧は置いておらず、一枚一枚の写真になってしまふので……。

少々お待ち下さい……。

ふーむ……なるほど……そうですねえ……お客様でしたら……、こちらの娼婦、トウコなどは如何でしょう？

どうでしょうか……？ 大変べっぴんさんでしよう？

ふふっ……トウコの黒髪は、とても綺麗でこの娼館でも有名なんですよ。気に入っていますか？

そうですか、それはそれは……何よりです。くすぐす……。

いえ……わたくし、お客様のお顔を拝見しただけで、

おおよそではありますが、その方の性癖、好みのタイプが把握できてしまうので……。

ふふっ……さて、では早速お部屋をご用意させていただきますので……。

今宵は、トウコとのお戯れをごゆっくりとお楽しみください……。

### ☆Chapter1 オイルで性的マッサージ編

こんばんは、お客様。本日はトウコをご指名いただきまして、誠にありがとうございます。

今宵、一夜の夢をあなた様と共に紡いで行きたいと思っております。どうかよろしくお願ひいたします。

……お客様はとてもお若く見えますね。

あの……お客様がよろしければ……是非、お兄様と呼ばせていただきたいのですが……。

よろしいでしょうか……？ ありがとうございます。それではお兄様、改めてよろしくお願ひいたしますね。

えつ、この髪ですか？ ああ、写真でご覧になられたのですね。

ええ、実は良く言われるのですが、これと言って特別なことはしていませんよ？

強いて言うなら、規則的な睡眠が大切なかなって私は思っています。

そういうお兄様、シャワーはまだ浴びていらっしゃらないのですよね？

では、ご一緒させていただきますので、どうぞこちらへ。

ふふっ、お兄様、どこを見ていらっしゃるのですか？

お兄様のえっち。……やっぱり髪も綺麗、ですか？

あ、ありがとうございます……。お世辞でも髪のことを褒められると、やっぱりうれしいですね。

お世辞じゃない？ わ、わかりましたからっ！ 恥ずかしいのでっ、そこまでにしておいてくださると……。

か、身体を流したら、オイルを塗っていきますからっ！

今回はこの、ローマンカモミールの花のオイルを使用していきます。

ふふっ、どうですか？ 甘い香りがするでしょう？

私はこのリンゴの香りのする花のオイルが大好きなんですよ。それにこのオイルは髪にも良いんですよ。

はい、それでは……身体に塗り込んで行きますね。んっ……ふふっ……。

このオイルには、緊張を解す効能もありますので、身体の力を抜いて、私に全てを委ねてください……。

ふつ……んっ……。んふふっ……気持ち良さそうですね。

んう……ふうつ……ねえ、お兄様。もっと気持ちいいこと……して差し上げましょうか？

お兄様、私とあった時に、髪とこの……胸、ずっと見ていましたよね？

女の子は殿方の目線には敏感なんですよ？ ちゃんと私の目を見て、お話しないとダメじゃないですか……。

そんなに照れなくても、いいんですよ？

お兄様がつい見てしまうこのおっぱいで……今度はオイル、塗り塗りしましょうか。

んっしょ……どうっ……ですかあっ……私のおっぱいで……お兄様の身体を包んじゃってますよっ……？

私も乳首が擦れてしまって……あっ……少し感じてしまますっ……。

やんっ……ダメですよっ……そんなにじっと、顔、見ないでください……。

んん……こういう時は、私の顔を見るんですねっ……。お兄様は……少し意地悪なのでしょうか……。

んしょっ……こうしているとっ……二人が一つの身体になったみたいで、

とってもいやらしい気持ちになってしまいますっ……。

んうっ……お兄様と一緒に、蕩けてしまいそう……ですっ……。

ひやっ……！

お兄様のおチンポ……元気になつてしましましたか……？

一度、出してしまいましょうか……。

わかりました。

では……僭越ながら私の手コキで、お兄様のこの立派なおちんちんを、シコシコさせていただきますね。

んっ……やんっ……。触れた瞬間にとってもビクビク反応されました……。

はあっ……お兄様のおちんちん……とても男らしいですよ……？

ふふっ……オイルでぐちょぐちょになったおちんちん、お手でシコシコされるの気持ちいいですか……？

テカテカといやらしく光って、私も興奮してしまいます……。

私のメスとしての本能が……お兄様のオスの部分にくすぐられてしまつて……はあっ……すごい……。

この出っ張った亀頭と、カリの形もはつきりとわかって……。まったくもう……本当にいやらしいオチンポですね……。

先からカウパーが出てしまつていますよ……。くすくす……。

お兄様のカウパーとオイルが混じって、とってもえっちで甘いニオイ……私、頭がクラクラしてしまいます……。

んっ……手だけでは物足りないでしょうか……？

ふふっ……、ではお兄様は、このおちんちんをどうされたいですか……？

えと、胸ですか？ ああ、私のおっぱいで……所謂パイズリ、をしてほしいのですね……。くすっ……わかりました。

このオイルでヌルヌルのおっぱいで、お兄様のおちんちんを包み込んでしまいますねっ……。

んんっ……！ はあうつ……すごいっ……ビケンビケンしてますっ……。このまま……上下に動かしますよっ……？

はんっ……んっ……どう、ですかっ……？

私の乳マンコ……気持ちいいでしょうかっ……？ ふふっ……。

んしょっ……はあっ……はあっ……お兄様、腰浮いちやっていますよ……？ くすくすっ……。

ああっ、お兄様、気持ち良さそうなお顔っ……。

もっと気持ちよくなつてっ！ 私の胸っ……おちんちんを射精するためだけに思う存分使ってくださいっ……！

はあっ……はあっ……、お兄様、よく見てください……。私の胸の谷間におまんこができちゃっていますっ……。

あんっ……乳マンコから亀さんが出たり入ったりして……んっ……あんっ……。

オイルで滑りがよくなっていますからつ、いっぱい胸の中でおチンポが動き回っていますよっ……。

んつ……はあつ……お兄様のおちんちん、反応が激しくなってきました……。  
 達してしまうのですかっ……？ ヌルヌルの女の子の乳マンコセックスでいってしまうんですかっ……？  
 はあつ、はあつ……！ いいんですよ……どうぞ、イッてくださいっ……！  
 お兄様のおチンポミルクで私の顔と胸をつ……お兄様の精液で沢山汚してくださいっ！  
 はっ、ほら！ イッてえっ！ いっぱい出してっ！ 私に精液ビュービュー顔面シャワーしてえっ！

きやつ……！ はあ一つ……はあ一つ……ああ……すごいニオイ……。  
 はあつ……顔中にお兄様の精液が掛かってつ……んふつ、濃厚精子にマーキングされてしまいました……。  
 相当溜まってらしたんですね……。すごい量です……。あう……髪にも少し、掛かってしました……。  
 くすぐす……。大丈夫ですよ、お兄様の精液なら……。  
 わざわざ気に掛けていただかなくても結構ですので……。ふふつ、お兄様はお優しいのですね……。

それではお背中をお流しますので、そのあと……お布団に参りましょう？  
 まだまだ沢山、ご奉仕させていただきますからねっ……。くすぐす……。

### ☆Chapter2 疑似処女喪失プレイ編

んふつ、それでは……これからこの特性オナホールで、お兄様のことを気持ちよくしてさしあげます。  
 実はこのオナホール……、私のここ……おまんこの形を模って作った特注オナホールなのです！  
 個人的にイロハさんにお願いして作ってもらっていたのですが……。  
 なんとこのオナホさん、今回が初使用なんですよ。  
 つまり……、わかりますよね？ お兄様が私の処女を奪ってしまう疑似体験ができてしまうんです……。

ふふつ……もうっ、お兄様のココ……説明してる間にまた大きくなってきましたよ……？  
 全く……どうしようもないお方です……。くすぐす……。  
 もうすこしだけ我慢しててくださいね……。  
 ちゃんとおちんちんが気持ちよくなれるように、ローションをたっぷりぬりぬりして、濡らしておきますので……。

あんつ……見てくださいお兄様……。  
 もうこんなに濡れちゃいました……私のおまんこオナホール……。くすぐす……。

くぱあって開いてあげますから、奥までじっくり見てもいいんですよ……？  
 やだ、お兄様に視姦されちゃってます……。な、なんだか少し恥ずかしいですね……。  
 これからここに入れて、気持ちよ~くなれるんですよ……？  
 でも、きっとお兄様のことですから、ローションだけじゃ物足りませんよね……。ふふつ……それじゃあ……。

あ——……  
 ん……ふあ……私の唾液もこうやって……んふつ……くちゅくちゅかき混ぜちゃいますよー……。  
 ……この音、聞こえますか？ ふふつ……とてもえっちな音がします……。  
 んふつ……泡立ってきちゃいました、ほら、よーく観察してください……。  
 どうですか……？ とーてもいやらしい穴でしょう……？ 私にもこれと同じものが、ココについているんですよ……。  
 くすっ……。興奮しました？ ほらほら、早く入れたいですよねえ……？

あんつ！ お兄様の逞しいおちんちん……ゴムのおまんこの中に入りたいよおーってピクピクしていますっ……。  
 もうっ……わかりましたよ。  
 そろそろ、私の唾液とローションでたっぷりのオナホにお兄様のおちんちん、入れてしまいましょうか……。

その前に……  
 この目隠し、つけさせもらいますね……。何故かって？  
 視覚を遮断した方が、快感が増すんですよ。騙されたと思ってやってみてください。  
 んふつ……何も見えなくなっちゃいましたね……。

それでは入れちゃいますよ……。ほらほら、入っちゃいますよ一つ……。

…………っ！ あはっ！ ごめんなさい、一気にくちゅってぜーんぶ、入っちゃいました……。  
いやだ、お兄様ったら……背筋もこんなに反らしちゃって……そんなに入れたかったのですか……？ くすぐす……。

……入れただけで感じている暇はありませんよ？ これからたっぷりと動かして差し上げますっ……。  
んつしょっ……。どうつ……ですか……？ 私のおまんこオナホ……気持ちいいですかっ……？  
中のヒダヒダも、私のと同じように、ついているんですよっ……。  
だから……私のおまんこもっ……こんな風にっ……！  
ふふっ……おちんちんにヒダヒダが絡みついてくるんですっ……。

あはっ……すごいっ……お兄様の腰、動いてしまっています……。  
コレは偽物のおまんこなのに……興奮してしまっているのですか……？  
私とセックスしているところを想像しているのでしょうか……？ くすっ……。  
では、お兄様の気分を高めるために、少々演技してあげないといけませんね。くすぐす……。

あんっ、お兄様っ……！ どうですかっ、トウコのおまんこっ……！ 気持ちいいですかっ……？  
私もとっても気持ちいいからっ、お兄様のおちんちんをキュンキュン締め付けちゃうのっ！ ごめんなさいっ！  
んんっ……！ このお……裏スジのところ、擦られるのが気持ちいいのですか……？  
そんなに腰ガクガクさせちゃってっ……！  
つ……うっ……あんっ……！ ふうっ……ひうっ……！ やあっ……！  
お兄様のおちんちん……膨らんできましたねっ……！ ああっ……！

やだやだっ、どうしましょう……！ このままでは、私、種付けされてしまいます……！  
あっ……！ ああっ……！ 精子出しちゃうんですかっ……？ お兄様の腰の動きが更に激しくなってっ……！  
あんっ……！ そんなっ……！ 一番奥でゴリゴリしゃぢやダメっ……！ お兄様っ……！  
あっ！ ああ……！ イッてしまわれるのですねっ……？  
ふふっ……私のキツキツおまんこに締め付けられて情けなくイク姿をよく私に見せてくださいっ……！  
いいんですよっ……！ このままお兄様のえっちなくさーい濃厚ザーメン中に出してしまってもっ……！  
ほらっ……！ ほらほらあっ！

んっ……！ ……あはっ、出てる出てる……。中でびゅくびゅく一って言ってるのがわかります……。  
本当に中出し、してしまわれたのですねお兄様……。

私の偽物おまんこに……。くすぐすっ……。  
精液たっぷり出したのが、オナホ越しに手のひらに伝わってきます……。  
……私の演技で興奮していただけましたか？ くすぐすっ……。  
もうっ、お兄様ってば……そんなに残念な顔しないでください。よしよし……。

では、一息つけたところで……  
これからもう一度、射精してもらいましょうか。

ん？ 何を言っているのでしょうか……？ ダメですよ、休ませてあげません。  
このまままたシコシコして、お兄様が壊れてしまうお姿が見たいのです。くすぐす……。

はい、それでは二回目、動かしちゃいますよお……。  
わあ……シコシコするたびに中に出していただいた真っ白な精液がオナホから溢れてきています……。  
いやらしい……。

あらあら、またおちんちんが硬さを取り戻してきましたね……。  
お兄様ったらいくらでもできてしまうぐらい溜め込んできていらっしゃったのですね……。くすぐす……。  
それなら私も遠慮は要りませんね。このまま続けさせていただきます……。

はい、シーコシーコ……くすっ、敏感になっちゃった亀さんがたまらないのですか……？  
そんなに身体をぶるぶる震わせて……お兄様……私の母性本能をくすぐらないでくださいよ……もう……。  
頑張ってイクのをこらえているお姿、とってもかわいらしいですよ……。  
あんまりかわいいものですから、動きを早めてイジめてしまいたくなります。

イヤイヤしてもだーめ、ふふつ……そんな姿もカワイイ。お兄様のせいで、私も我慢できなくなってしまいました……。  
ほらほら、スピード上げて行きますよ。んっしょ……シコシコーっ……。

ふふつ……。とっても気持ち良さそう……。もう何も考えられないですか？  
目隠しづーとされて、何も見えないから不安ですか……？

でも、気持ちいいんでしょ……？ 私に目隠しされて……おちんちんを支配されてしまっている感覚……。  
ふふつ、このまま癖になってしまうかもしれませんね……。くすくすっ……。

ほらっ……イクんですか？ イクときは、ちゃんと私の名前を言いながらイッてくださいね。  
作り物とはいえ、私を模ったゴムの玩具にイカされてしまうんですから……。  
達してしまうのなら誰のおまんこにイカされてしまったのか、はっきりと名前を呼びながらイッてもらわないと……。  
わざわざ作った甲斐が無いでしょう？

ほらっ！トウコのおまんこでイクって言いなさい！ もっと！ 私の名前を呼んでっ！ お兄様っ！  
ああっ！ いいですよっ！ お兄様に名前呼ばれるの、好きっ！ あんっ！ お兄様っ！  
くすっ……、イキたい？ イキたいの？ またトウコの中でイっちゃうんだ？ しょうがないお兄様ですねっ……！  
ほらっ、イキなさいっ！ イきたて敏感おチンポごしごしかれて精液全部出しちゃえっ！  
私の偽物おまんこに無駄打ち精子発射しちゃえっ！ ほら、イケッ！ イケイケイケッ！

あんっ……！ ……うわー……出てる出てる……すごい勢いですねー……くすくすっ……。  
あはっ、突き出した腰がガクガクして止まらないですねえ……。

連続なのにこーんなに出しちゃって……ほーら、尿道に残ってるザーメンも全部絞ってあげますからねー……。  
シーコシーコ……。  
くすくすっ……。  
またしても、作り物おまんこに金玉ミルク沢山どぴゅどぴゅーって搾り取られちゃいましたね、お兄様……。

ふうっ……満足されましたか……？  
目隠しを外してあげますから、情けなくイッてしまったお顔を見せてください……。  
ふふつ、目に涙を溜めちゃって、泣くほど気持ちよかったです？ 可愛らしいお兄様です……。  
おや、一度に二回も出したのに……、お兄様のおちんちん、立派なままでね……。  
まさか、まだやり足らないのでしょうか……？ ふふつ……。私の身体でその欲望を……ぶちまけたいのですか？  
くすっ、そんな顔してもダメですよっ。けれど私も、実はお兄様のことが……。

んんっ！ い、いえ、なんでもありません……。  
お兄様とは……もう少し時間を掛けて、じっくりと親密な関係を築きたいのです。  
ですからまだ暫く、私のワガママに付き合っていただきたいのですが……。よろしいですか……？  
ふふつ……、ありがとうございます。  
私、これでお兄様のことがまたひとつ、好きになってしまいました。くすくすっ……。

☆Chapter3 黒髪支配髪コキ編

ねえ、お兄様……。一つ提案があるのですけれど……。  
 この髪を、白く染めてみたくは無いですか？  
 んふつ……だって、お兄様ったら……ずっと私の髪をチラチラ見ているんですもの。  
 お兄様の為なら……私、この髪でおちんちんを、気持ちよくしてあげることだってできちゃうんですよ……？

んーと、例えば……  
 ほーら……お兄様のおちんちんに、私の髪の毛でくるくる一つと包んでえ……。  
 くすぐす……あら、見てください。髪がカリ首に巻きついちゃいましたよ……？  
 どんな気分ですか……？私の髪に縛られちゃってる感覚は……。

くすっ……今、とってもかわいらしい声が出ましたね……？  
 くすぐったいのですか……？それともお……？  
 私の髪をお兄様の汚らわしいおちんちんで汚してしまっているという背徳感……  
 それに興奮してしまっているのでしょうか……？  
 んふふつ……お兄様ったら……イケナイお方……。  
 いえ、いいんですよ……どうぞ、私の髪の一本一本まで……しっかりと感じてくださいね……。

んっしょ……お兄様の亀頭に、髪を押し当てて……私の手で、亀さんをゴシゴシしてあげますっ……。  
 んっ……ふふつ……ザラザラして、痛いような気持ちいいような、不思議な感覚でしょう……？  
 あはっ、もしかしたら尿道に私の髪がにゅるんって入ってしまうかも……。くすぐす……。

怖いですか……？お兄様の尿道が私の髪に犯されちゃうところ……想像してください……。  
 嫌だ嫌だ一ってお兄様は言うけれど……私の髪はおちんちんをイジメ倒してしまうんです……。  
 にゅるにゅる一ってお兄様の尿道おちんぽ処女穴を責めちゃうんですよ……？くすぐす……。  
 恥ずかしいですか……？  
 顔、隠しちゃダメですよ？犯されてるのを想像して、アヘってるそのだらしない顔……しっかりと私に見せてください。

……何よだれ垂らしちゃってるんですか？  
 気持ち悪いですね、お兄様が私の髪だけで満足しちゃうようなマニアックな変態さんだったなんて……。  
 こんなに魅力的な身体が目の前にあるのに……ねえ？  
 それでも私の髪に夢中なんですね。はあっ……仕方のない人。

ん……なんですか……。もう我慢できないって……？  
 ふうん……そうですか。私の髪がそんなに好きなら、お兄様の大好きな私の黒髪ごしにシコシコしてあげますよ。  
 んつ、と……おちんちんにしっかりと髪を巻きつけて……っと……。  
 ふふつ……お兄様のおちんちん、私の髪で見えなくなっちゃいました……。  
 この上からあ……私の手でこのおちんちん、シコられたいんでしょ……？くすぐすっ……。  
 そんなにお望みなら……ほらほらっ！こうして激しくされるのがイイんでしょ、お兄様っ！  
 ちょっと……私の髪にたくさんヌルヌルがついちゃってますよお……？  
 もう……毎日ちゃんとケアしてるのに、どうしてくれるんですか？変態お兄様ったら……。

くすぐすっ……アンアン喘いじゃって……。  
 こんな年頃の女の子の髪の毛でおちんちん擦られて感じてしまうお兄様は、本当に変態さんですね……。  
 うん？随分いつもと態度が違う？そうでしょうか……。  
 でも、お兄様は私の髪の毛以下の存在だから……これぐらいの対応でいいんじゃないでしょうか……くすっ……。  
 ……あら？酷いことを言ってしまったと思ったのに……。  
 お兄様……どうしてさらにおチンポをバッキバキにお勃てているのでしょうか……？  
 まさかまた……私の髪にイジメられたくて、こんなになっちゃったんですか……？

ふふっ……やはりお兄様はこういうプレイもお好きでしたのね……。

私も本当はこんなこと言いたくないです……。

けれどお兄様が喜んでしまうのですから……。しょうがないですよね……くすくすっ……。

そう、お兄様はマゾだと言っているんです。その節操なしのおチンポをしっかり教育してあげますから、その間お兄様は私の髪の毛でも舐めていればいいんじゃないでしょうか、ほら……。

んふっ……そんなに必死に舐めて……おいしいですか？ 私の髪の毛……。くすっ、バッカみたい……。

んっ……どうですか……？ 裏スジにザラザラした髪の感触がして、たまらないでしょう？ んっしょっ……。

ふふっ……息が荒くなってきましたよ……興奮、しているんですね？

素直になってください、お兄様は私の髪の毛に弄ばれて、おチンポ興奮しちゃってる変態さんなんだって……。

そう……まるで触手さんに犯されているみたいな格好ですよ……くすくす……。

とっても気持ち良さそうですね、お兄様……。

私の髪に犯されてしまっている感覚……癖になっちゃいそうですか……？

いいんですよ……。身を任せて、いっぱい気持ちよくなってください……。んしょっ……んうっ……。

とってもかわいらしいです、お兄様っ……。

でもこのまま、お兄様が私の黒髪をペロペロしないとイケない身体になつたらどうしましょう……。

それは少しかわいそう……。

なーんてっ、お兄様が私だけのものになるなら、私はそれでいいんですけれど……くすくす……。

あら？ そろそろイチャいますか？ キンタマキュンキュン上がってきましたねえ……。

あ一……でもこのままだと私の髪の毛にお兄様の子種がが掛かっちゃう……。

なんですか……？ 私の髪を真っ白に汚すところ想像しちゃいました？

んもう……髪の毛に精液ついたら……落とすの結構大変なんですよ……？

でも、愛しいお兄様にならっ……この髪にせーえきぶっかけるのを許可してあげますっ……ふふっ……。

お兄様っ……はあっ……はあっ……いいんですよ……！ 私の髪をっ……汚してしまってもっ……！

ずーっと見てた私の髪からっ……、お兄様の精液ニオイがするぐらい沢山ぶっかけてくださいっ……。

洗っても取れないくらいたくさん出してくださいねっ……。ほらほらっ……！

早く濃厚精液ドピュドピュ出してっ……！

私の髪を精液まみれにしてえ！ お兄様の子種汁でマーキングしてっ……！ あっ、イッちゃうっ！

トウコに髪コキされておチンポイッちゃうっ！ いいよっ、掛けて！ いっぱい掛けてくださいっ！

ほらほらほらあつっ！

ひやうっ……！ あ、ああっ……！ やあっ……んっ……！

お兄様の亀頭の先からたくさん精液がいっぱい出てっ……私の髪に掛けられてるっ……。

はあん……お兄様ったら……こんなに出してっ……。

はあっ……はあっ……。ふうっ……。

んふふつ、満足していただけましたか……？

そう……よかったです……。

お兄様がお望みなら、これからもこの髪を……性のはけ口に使ってもいいんですよっ……。くすくすっ……。

えっ、これからも私をずっと指名する……？ 本当に……？

い、いいんですかそんなこと言って……。私って結構、嫉妬深いんですよ……？

そ、そうですか……。いえ、素直にうれしいです……。

これからも私、お兄様に気に入っただけるよう、ご奉仕させていただきますね？ ふふっ……。

## ☆Chapter4 電マでカウントダウン射精編

さて、本日もお兄様にリピートしていただけたことですし、今回は少し激しめのプレイに挑戦しちゃいましょうか……。むーっ、なんですかその顔は……。激しくてもかまわないけど、頑張るからご褒美が欲しい……？うーん、そうですねえ……。ふふつ、それなら……言う事聞いてくれたら、セックス、して差し上げますよ？

あはっ、お兄様の顔色が変わりました。そんなに私とハメハメしたいのですか？  
なら今日も、私の言うこと聞いていただきますね……。  
今日はお兄様の為に、わざわざ自宅から持ってきたものがあるんですよ？

じゃじゃーん！これ、もちろん見たことがありますよね？ そう、電気マッサージ器です！ 通称電マです！  
なんだかおばさん臭い……？ し、失礼ですね……！ 女性に対してそういうことは言ってはいけないのですよ！  
もうっ……、女の子だって肩くらい凝るのにっ……。  
というかそんな軽口を叩けるのも今のうちなんですけれど……ふふふつ……。

ということで、今日はこの電気マッサージ器で、お兄様を文字通り、マッサージして差し上げます。  
えっ？ そんなことでいいのか、って？  
ええ、何せ今日はお兄様の日頃のお疲れを癒やして差し上げるのが目的ですから……。

さて、まずは肩からっと……  
それでは当てていきますよ～？  
わわっ、結構固くなっていますねえ……。……どうです？ 気持ちいいですか……？

というかやっぱり、近くで見ると殿方だって感じのする身体つきです……。  
今までしっかりとお兄様の身体をまじまじと見ることがなかったので……。  
と言いますか下半身ばかり見てたので……。  
って、な、なにを言わせるんですか！ つ、次は背中にいきますっ！

んつと……ご自分で電気マッサージ器を背中に当てるこってほとんど無いですよね……？  
こうして電気マッサージ器を……二つ使って……背骨の両脇に沿って押し当てる……んつ……。  
気持ちいいんですよ……？

ふふっ、とっても気持ちよさそう……。やっぱり私は、お兄様の気持ちよさそうな顔を見るのが好きです……。  
背中も立派です、私と違ってゴツゴツして男らしいですよ……自信を持ってください……。ふふつ……。

次は腰に行きますね……。  
腰は、ゆっくりと外側から内側へ動かして……んっしょっ……。  
お兄様はずっと腰を動かしてるんですから、随分お疲れなのでは……？ なんて、冗談ですよつ。  
こうして、お尻にも当てて……んっ……人にやってもらうと、電気マッサージ器とは言え一味違うでしょう……？

ふふっ、それでは次は股間へ行きます……。  
——って、ちょっと、何ですかこの手は……。  
つ……いいですから！ 今日はお兄様は動かなくても大丈夫ですから！ そのままリラックスしててください……。

一旦電マは置いておいて、手で金玉さんを揉みほぐしていきますね……。  
かるーくもーみもーみ……、どうですか？ 変な気分……？  
おかしいですねえ……マッサージしているのですから、気持ちよくなっていたのかないと……。  
んっしょ……ふふっ、そんなに怖がらなくとも平気ですよ……？ 潰したりなんかしませんから、くすぐすっ……。  
んっ……うーん、これは……随分と凝ってますねえ……。  
しっかりと電マで股間の凝りをほぐしてあげないといけません……。  
それでは電マを使っていますね……。

……なんですか？

まだ何か……？ 私のお願い……聞いてくれるんですよね？ ……セックス、させてあげませんよ？  
くすっ……、よろしい。ではそのままでお願ひしますね、お兄様……。

まずは強さを、弱にして……この玉袋とアナルの間……ここを電マで当てていきます……。

ふふっ……ちょっとお兄様、どうかされましたか？ 急にピクっとされて……。

慣れちゃダメですよ？ 凝りがほぐれるまで続けますからね、くすぐすっ……。

いい感じになってますねえ……声が出るほど気持ちいいですか？

こうしてアナルから、玉の裏までゆ一っくりと沿わせていきます……。

んふっ……アナルひくひくしちゃって、可愛らしいですよ……。

ほら、ここを往復しながら……ふふっ、気持ちいいですねえ……。

お兄様が今思っていることを、当ててあげましょうか……？ 竿にも電マを当てて欲しい……でしょう？

くすっ……お気づきでしたか……？

私がこの場所を攻めている間に、お兄様がすっかり勃起してしまっていることに。

大丈夫ですよ、これから竿の方にも電マを当てていきます……。

こうしてアナルから……玉裏……玉をかきわけて……

そして裏スジをつつーっと舐って……亀頭までっ……。

つ……お兄様……とっても息が荒いです……。いつもよりも興奮していらっしゃいますか……？

私もお兄様の感じてる顔を見て、興奮してしまいました……。もう、止められそうにありません……くすっ……。

また往復させて行きますね……。ねっとりといやらしく、電マを当てていきます……。

んっしょ……んっ……。んんっ……ふっ……んうっ……。

あら……お兄様……。おチンポの先から、涎が出てしまっています……。こんな感覚は初めて、ですか……？

男の人も電マでおチンポ、気持ちよくなれちゃうんですよ……？ ふふっ……。

イキそうなのにイケない感じ……たまらないでしょう……。

イカせてほしいですか……？ お兄様っ……。

んふっ……かわいい……。おちんちん苦しいですねえ……もっとも一つと強い刺激が欲しいでしょう……？

それなら、もっとこのピンツで勃起したおちんちんをふるふる揺らしておねだりしてください……。

動物の尻尾みたいに揺らして、かわいくおねだりできたら、イカせてあげますよ？ くすぐすっ……。

そんなにプルプルおちんちん震わせちゃって……。

くすっ……まあ、おねだりとしては及第点ですね……。今日はこれくらいで許してあげましょう。

それではここ……アナルと玉裏の間、ここが一番お兄様は気持ちよさそうだったので、

カウントしてあげますから、ゼロになったら思いのままにビュービュー射精してもいいですよ。

もちろん、ゼロになった瞬間に電マの強さを強にして一気に押し付けてあげますから、

嫌でもイッてしまうと思いますが……くすぐすっ……。

ほら、股を開いて射精の準備をしてください……。

行きますよ……。

ごーお……、よん……、さん……、にーい……、いーち……、ゼロ！

ひゃんっ……！ っわわ、すごいすごいっ……！ 噴水みたいにたっくさん精液が出ちゃってますっ……！

いつもよりいっぱい出てるっ……はあっ……まだ出でますっ……すっごく気持ちよさそー……。

ドクドク射精してるお兄様のお顔、もっとよく見せてください……。

ほら、見られてますよ……お兄様……。

お兄様よりもずっと年下の女の子に射精してる瞬間の顔、覚えられちゃってますよ……くすぐすっ……。

全く射精が収まりませんね……もっと見てほしいのでしょうか……？ ふふつ……。

あ、やっと収まってきたました……。

ふうっ……たくさん出しましたね、お兄様。いつもより気持ちよかったです？

ふふつ、それは少し趣向を変えた甲斐があったというものですね。

え？ 約束は守ったから、セックスさせてくれるんじゃ……って？

ま、まあそれは次の指名のときのお楽しみってことで……。

まだちょっと心の準備が……。ご、ごめんなさい。急に恥ずかしくなってきてしまって……。

次は、お兄様とその……本番するための準備をしておきますから……。

次回も、必ず私を指名してくださいね……？

## ☆Chapter5 愛し姫トウコ編

あら、いらっしゃいませ。今宵も娼館、織姫屋へお越しいただきましてありがとうございます。

本日もトウコをご指名いたしますか？

えっ、今日は別の子を指名してみたい……？

そ、そうでしたか……わかりました。

お部屋をご用意いたしますので、少々お待ち下さい……。

ふふふふふつ……んー？

どうして私が入ってきたのか、気になりますか？

さつきのイロハさんとの会話、聞こえてしまったんですけど……。

お兄様……今日は、他の子を指名しようとしていましたね？ まさか、私に飽きてしまったのですか？

ねえ……、なんとか言ってください……。ねえっ！！！！

ほら、なにずっと黙っているのですか？

早くなにもか言ひなさいよ……私はあれだけお兄様に尽くしていたのに……何が不満だったんですか……？！

不満なんて何も無い……？ ふふつ……そう。それではやはり飽きてしまわれたのですね。

私がいつも優しくしてしまったから、お兄様が冷めてしまった……。そういうことですか……。

ふうん……けれど、他の子はきませんよ？ くすっ……私がきちんと言いつけておきましたから……。

今日も私と……してもらいますよ？

別の子にうつつを抜かそうとしていたお兄様に、私の愛情をたっぷりと込めた、お仕置きが必要ですからねえ。

まずは……私のオマンコを舐めてください。んつ……ふふつ……そんなにがっついちゃって……。

全く……舐めたくてしょうがなかったようですね？ 今までこういうことはさせてなかったのですものね……。

他の子にもこういうこと、したかったんですか？ それとも……こういうふうに命令されたかったのかな？

んふつ……あんつ……お兄様つ……とってもお上手ですよっ……もっと奥までっ……綺麗にご奉仕しなさいっ……。  
まるで犬みたいでっ……とっても健気ですっ……。くすぐす……。

お兄様ったら、やっぱり相当なドMだったのですか……？

くすっ……ほらあつ……、わんちゃんつ！ もっとお尻をフリフリしながら綺麗に舐めなさいっ……！

っあんつ……！ イイですよっ……はあっ……お兄様はっ……ペロペロする才能がお有りのようですね……。

そうつ……もっと舌の動きを早くしてっ……。

あっ……！ そこはっ……！ クリちゃんペロペロするのはダメっ……！

こおらつ……！ い、言うことを聞きなさつ……やんつ！

イッ……！ ああっ！ そこ、そんなに激しくしたらっ……あつ、イッちゃうっ……このままじゃっ……お兄様あつ……！

出ちゃう出ちゃう……やだあつ……ちょっとおつ……おしつこ出ちゃいますからあつ……！ダメっ！やめてえつ！ああつ……！イツ……くうううううううううううううん！

あ……ああつ……い、いっちやい、ましたあ……。

ダメって言ったのにつ……それに殿方の前でこんな……は、はしたないですう……。

こんなんじやもうお嫁に行けませんよお……。ぐすつ……ううつ……ぐすつ……。

……ねえ、この責任、取っていただけますよねえ……お兄様？くすぐすつ……。

勿論、ここで言う責任は、毎日私のところに足繁く通っていただくことです……。

一晩でも私のことを寂しくさせたら、本当におこつてしまふんですから……。

もし、ずっと私を指名していただけるなら、今日は他の子がしてくれないコトを、してあげましょうか……？

お兄様は……ココに、入れたいんでしよう？約束、していましたものね……。

先程沢山ペロペロしてもらったので、私の準備はもうできています……。

ふふつ……それではコンドーム、つけて差しあげますね。

……えつ、生でされたいんですか？

でも……お仕事上、これはしていただかないと……イロハさんがうるさいので、仕方が無いんです。

私としては、ゴムなんて要らないんですけど。

お兄様が毎日、私のところへ通ってくれると誓っていただけるのでしたら……。くすぐす……。

……はい、ゴムつけましたよ。とてもビンビンにおちんちんが勃起してますから、ゴムさんがキツキツですねえ……。

ふふふつ……早く入れたくて仕方がないみたいで……。

ん……残念ですが、私が上になりますので……私のペースでやらせてもらいますねつ……。

んしょ……、ほーらっ……見て……入っちゃいますよ……おちんちんの先、見えますか……？

ふあんつ……！お兄様のカリガにゅるんって入っちゃつたつ……。

ああんもう……お兄様のその、いち早く入れたいってお顔……興奮してしまいますっ……。くすぐす……。

ほらっ……ちゃんと見ててくださいつ。入っちゃいますよ……？

ほらほら……私のオマンコがっ……お兄様のおちんちん食べちゃうのっ……んつ……はあつ……はあつ……！

ああつ……！ひうんつ……はあつ……！

遂に全部入っちゃいましたねつ……。これでお兄様は……私のモノですっ……。ふふつ……。

ん？……お兄様、何を言っているんですか？全く……私は娼婦ですよ？

経験が無いわけないで……。くすぐすつ……、何を期待していらっしゃったのでしょうか……。

んつ……私はお兄様のものでは無いんですけど、お兄様は私のモノですよつ……。

だから、お兄様はこのまま、大人しく私に搾り取られちゃってくださいね……。くすつ……。

ほら……お兄様っ、うごきますよっ……あつ！んああつ……！

あうつ……！どうつ……ですか？今、お兄様と交尾してますっ……ああんつ！うれしいつ！

はあつはあつはあつ……！見てっ！パンパンって、とおーっても激しいセックスしていますよっ！あはははははっ！

ね、ねえつ……もう絶対に私から離れちゃダメですからねつ……？

私はねえつ……、自分の所有物が他人に取られてしまうのが、一番イヤなんですっ……。

もし私以外の娘とこんなことしたら、私狂っちゃって……お、お兄様のことつ……殺してしまうかも……くふふつ……。

こーんな風に……あんつ……、お兄様の首に私の髪の毛が巻きついてしまってえ……。

んつ……このままギューって首を締めるとお……。くすぐす……。

怖い？もうつ……そんなに怯えないでくださいつ……。

あつ……お兄様が毎日私のところに通ってくれるのならつ……、優しくしてあげますからあつ。

はあつ……！ふうつ……。

気持ちつ……いいですか？私もとってもつ……気持ちいいですうつ……。

12/12

はあつ……はあつ……えっちな音響かせながらつ、お兄様のおちんちん離したくないからつ……

私のオマンコ肉でぎゅうぎゅう締め付けちゃうんですつ。

絶対に絶対につ、誰にも渡しませんからねつ……！

これからは、わ、私の膣でしか、出しちゃダメですよつ……？ ゼ、絶対に逃がさないんだからつ……！

はあつ……もうつ……イキたいですかつ……？ それならほらつ、中で出してくださいつ！

ふふつ……大丈夫ですよ……。どうせゴムしてるんですからつ……。

あんつ……だからあ……思いっきりおチンポ奥まで突っ込んで、中出し気分を存分に味わっちゃってください……。

ふふつ……今、興奮しましたね？

すぐにわかってしまいますよつ……ビクビクってお兄様のオチンポが反応しましたからつ……

そのおチンポからたくさん、精液出して、私のコト孕ませることを想像しましたかつ……？ くすくすつ……。

んつ……ほら出してつ……。いやらしく腰振ってる私の中に精液出してつ、お兄様あつ……！

中出ししてもいいですからつ……私の事孕ませていいからあつ！ お願いつ！ 奥までおチンポ突っ込んでつ！

種付けしてつ！ 生涯のお嫁さんにしてえつ……！

ああつ！ イイツ……！ イクイクイクつ……！ 私もイッちゃうううう！ イックくううううううううんつ！

はあ一つ……！ すごおいつ……はああつ……。あんつ……！

あううつ……私のオマンコが……おちんちんから精液つ、きゅきゅーって絞り取ってますよつ……？

はううつ……ゴムが精液で膨れてつ……私の中で暴れちゃってますうう……。

妊娠させたいよーって精液が頑張って子宮ノックしてるのうつ……。

はあ一つ……はあ一つ……んふふつ……でもお、ダメですよ……。

んつ……この通り、お兄様のこってりプルプルの濃厚精液は、ぜーんぶこのコンドームの中に収まっちゃってまーすつ。

……どれだけ溜まっていたんですか？ よく見るとすごい量ですよねえ……。

そんなに私のコト、孕ませたかったです？ くすつ……。

お嫁さん……？ な、そ、そんなことは言っていません！

い、言ったとしても……勿論、全部演技に決まってるじゃないですか。もう……。

けれど、これからは……私がお兄様の肉欲の全てを叶えて差し上げますから、他の娘は必要ありませんよね……。

私にこうしてまた、精液搾り取られたかったら、私を指名して素直におっしゃってください。

いつでもお兄様と、激しいセックス……してあげますからつ……。くすくすつ……。